

大切なのは、
“ロングゴとソロバン”

『論語と算盤』は、明治・大正時代の実業家、渋沢栄一の著書名です。

当時の日本の経済発展に必要なのは、東洋の儒教的思想(論語)と西欧の資本主義(算盤)である、という意味です。

翻って、「イノベーションリーダー育成プログラム」では、“ロンゴとソロバン”を重視しています。

“ロング”とは「自分は何をしたいのか？」を認識すること(=自己認識)であり、

“ソロバン”とは、自分がしたいことの実現に必要な知識とスキル(=実現手段)です。

「イノベーションリーダー育成プログラム」は、講義形式とチーム・プロジェクト形式(PBL)で学ぶ1年間のプログラムです。技術経営人材を目指す人にも、起業を目指す人にも役立ちます。

主な受講対象は、本学博士前期課程・博士後期課程在籍の学生と、一般社会人ですが、学部生（理系・文系）も聴講生として参加できます。

目的

- 不確実な時代において、自ら課題を設定し、思考力と行動力で課題解決をリードでき、且つマネジメント力を持った技術経営人材の育成。
 - 自己の価値観・ミッションに基づき、熊本県内で起業する、あるいは地域課題を解決するイノベーターの育成。

目 標

本プログラムに参加する学生が、イノベーターが共通して保有する下記の2つの要素の基本的知識とスキルを獲得して、本プログラムを修了すること。

普遍性 ①論理的思考力、デザイン思考、システム思考といった「考える力」の習得
②自分の価値観を理解し、「将来、かくありたい」という「思い」の醸成

先端性】 ①スタートアップに関する最新の知識・スキルの習得
②デジタル化が進む最新のビジネストレンド、ビジネスモデルへの理解



イノベーションリーダー育成プログラム

Innovation Leadership Program

21世紀は VUCA ワールド (Volatility (変動性) / Uncertainty (不確実性) / Complexity (複雑性) / Ambiguity (曖昧性)) といわれ、「正解のない時代」に突入しています。

今日、日本の製造業は従来の「モノづくり」から「サービスによる高付加価値化」へのビジネスモデルの変革が要求されています。そして、技術経営人材には自ら問題を設定し、解決策を考え、実行することが求められます。

本プログラムは、将来の企業内起業家（インテレプレナー）や起業家（アントレプレナー）を目指す学生向けに用意された実践プログラムです。

技術経営の基礎から応用に関する講義、グループ演習、チーム・プロジェクトなど全7科目で構成されています。

講師陣は、経営学の専門家および第一線で活躍する若手経営者です。

本プログラムの修了者は、
「イノベーションリーダー育成プログラム修了認定」を取得できます。



※SlackとZoomを活用しながら、チームプロジェクトを進めます。

実践 MOT (PBL) の活動プロセス

セルフアウェアネス (=自己認識)



- ✓ アイデンティティ開発
- ✓ チームのミッション構築
- ✓ 社会課題テーマの探索

- 自己探求・原体験の言語化
- 仲間の人生を知る
- 顧客(ペルソナ)と出会う
- 小さく作り、早く試す
- 少人数の熱狂的なエヴァンジェリストカスタマー(大ファン)の想定
- 目指す価値を生むまでサービスを磨き続ける
- 収益モデルの検証

ゼロイチ [0→1]



- ✓ 顧客との共同化
- ✓ インサイトの発見

- 顧客(ペルソナ)と出会う
- 小さく作り、早く試す
- 少人数の熱狂的なエヴァンジェリストカスタマー(大ファン)の想定
- 目指す価値を生むまでサービスを磨き続ける
- 収益モデルの検証



- ✓ プロトタイプの試作
- ✓ 最初の顧客にヒアリング
- ✓ 実証実験の実施
- ✓ 顧客からのフィードバック

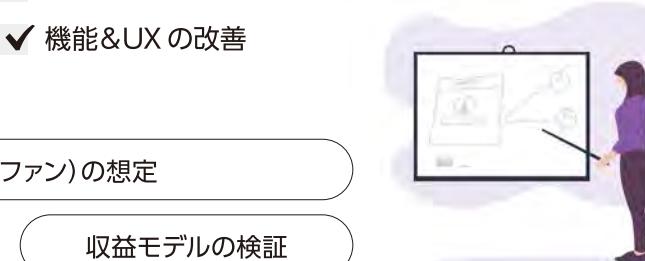
- 少人数の熱狂的なエヴァンジェリストカスタマー(大ファン)の想定
- 目指す価値を生むまでサービスを磨き続ける
- 収益モデルの検証



- ✓ ビジネスマodel整理
- ✓ 機能&UXの改善

- 機能&UXの改善

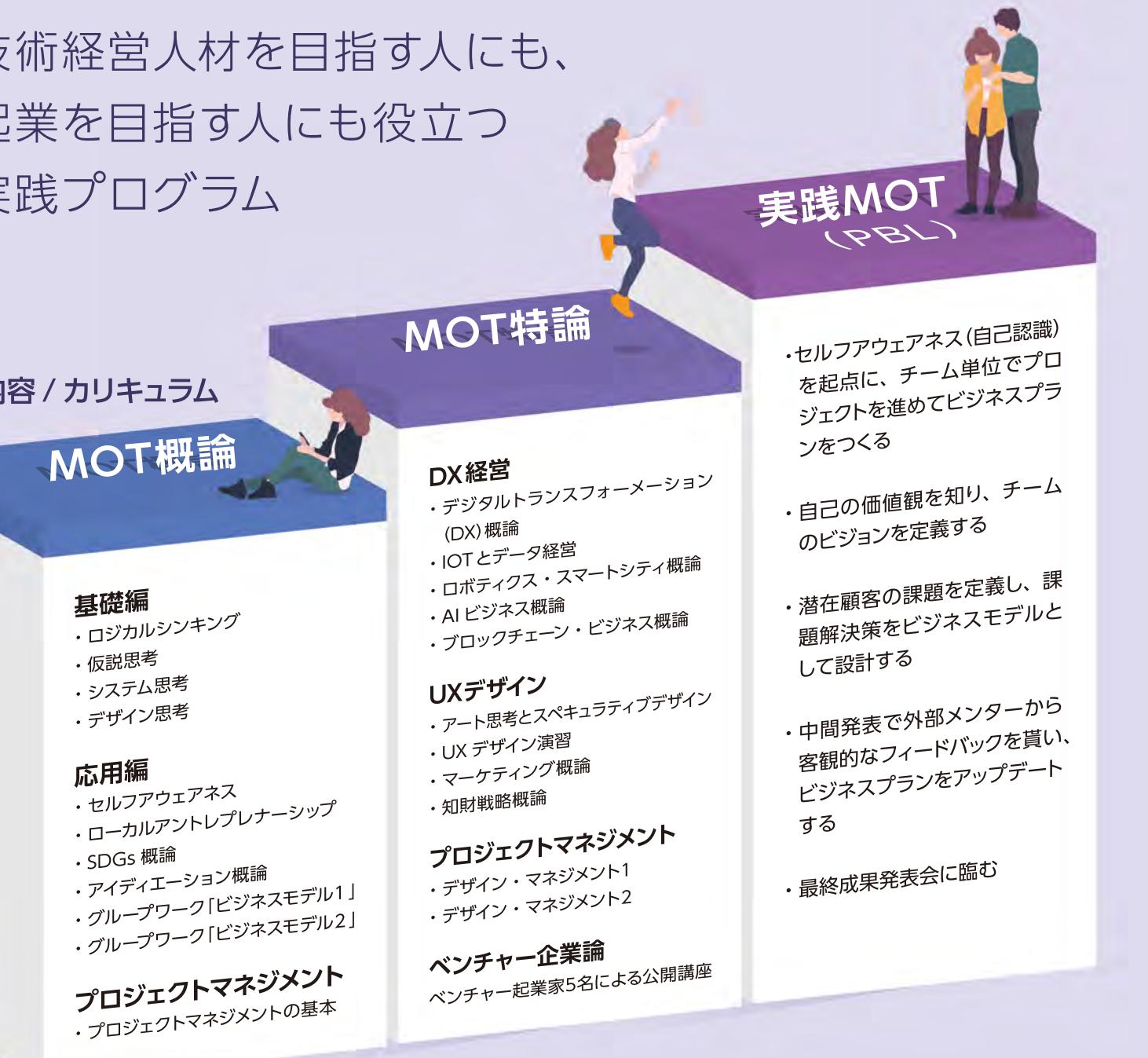
Demo Day



単位数

講義名	必修	選択
MOT概論・基礎編	1	
MOT概論・応用編	1	
実践MOT	2	
UXデザイン	1	
プロジェクトマネジメント	1	
DX経営	1	
ベンチャー企業論	1	
計	6	2

技術経営人材を目指す人にも、 起業を目指す人にも役立つ 実践プログラム



2021年度 / 募 / 集 / 要 / 項 /

■一般の方

一般の方は、本学科目等履修生として入学いただけます。
科目等履修生の出願要項に従い、出願手続きを行ってください。

【出願資格】

次のいずれかに該当する者又は入学までに該当見込みの者

- 学校教育法(昭和22年法律第26号)に定める大学を卒業した者
- 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者
- 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものによるものとして当該外国の学校教育制度における16年の課程を修了した者
- 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの)はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものによるものに限る。)に在籍して、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了するもの及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者
- 専修学校的専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)

【出願手続】

入学志願者は、次の書類等を取りそろえ、出願期間までに持参または郵送により大学院教務担当へ提出してください。

- 入学志願書・所定用紙(出願要項に付属) *写真縦4cm×横3cmを貼付
- 卒業・修了(見込)証明書：最終学校のもの
(大学を卒業した者は、卒業大学とそれ以降の全ての証明書について提出)
- 成績証明書：最終学校のもの
(大学を卒業した者は、卒業大学とそれ以降の全ての証明書について提出)
- 検定料受付証明書貼付台紙：検定料9,800円(出願要項に付属)
- 住所票(出願要項に付属)

【受講料】

検定料：9,800円 入學料：28,200円 授業料：1単位あたり14,800円
※修了には最低141,600円かかります。

■本学大学院生

【出願資格】

本学博士前期課程・博士後期課程在籍の者

【出願期間】

2021年4月19日(月)～4月30日(金)

【出願手続】

募集期間中に大学院教務担当へ履修申請を行う。

【受講料】

無料

